



加藤 克之 議員 無会派

問 公立保育所民営化の進捗は 答 ひので保育所から進める



▲ひので保育所

○市内保育所の民営化について以下を問う。

問 メリットは。

答 (健康福祉部長) 保護者の多様なニーズに対応が可能。預ける施設の選択肢が増える。国の補助制度が活用できる。

問 デメリットは。

答 保育士の入れ替わりに伴う環境の変化が考えられる。

問 財政効果は。

答 2800万円程の負担軽減。

問 その使い方は。

答 教育に関する施設、子育てに関連した施策に充当。

問 移管先法人の選定方法は。

答 ※プロポーザル方式を採用。

問 引継ぎは、どのように行つか。

答 本年度中は、移管先の保育士5人がひので保育所に派遣され「共同保育」を実施。

問 保育内容は変わるのか。

答 英語教室や体操教室を実施し、保育の充実を図る。

問 ひので保育所の保育士の処遇は。

答 他の公立保育所に配置替えをする。また、会計年度任用職員は本人の希望に添って配置。

問 土曜日の預け入れ時間は。

答 午後5時までの一日保育。

問 令和11年度に計画している弥生保育所民営化について市長の考えは。

答 (市長) 令和10年度を目標に事業を進めていく。

※プロポーザル方式
最も適した提案内容を提示した企業を総合的に評価して選定する方式

問 早急な部活動の地域移行を

答 課題に一つずつ取り組む

○部活動の地域移行について以下を問う。

問 本市の現状は。

答 (教育部長) 休日部活動の地域移行の検討を進めている。

問 進まなかった要因は。

答 具体的な移行策を打ち出せなかったことや、保護者からの抵抗感があることが要因。

問 進まないことで、活動に影響を及ぼしているか。

答 活動日数や時間数に制限があり、充分な練習を行うことができない。

問 その解消に向けての具体策は。

答 地域指導者との交流、つながりや社会性の育成、専門的な指導のもと競技に取り組む。

問 今後進めていく上での支援体制は。

答 受け入れ可能な団体と試行的活動を実施。関係団体との連携強化。

問 教育長の見解は。

答 (教育長) 地域のスポーツ団体や関係者と連携し、課題の一つずつ取り組んでいく。

【その他の質問】

学校通信ネットワーク整備は。